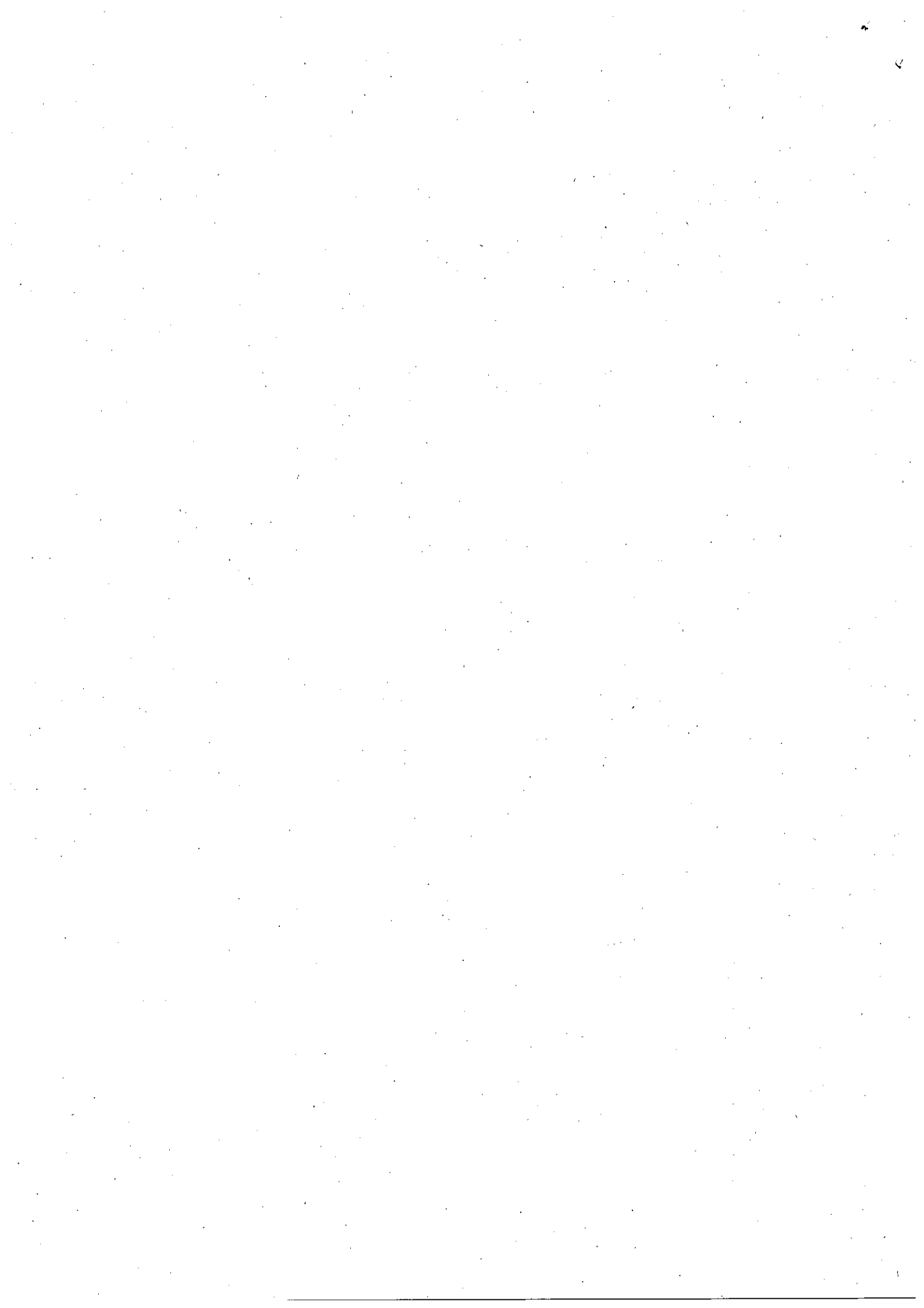


所管事項調査に関する資料

目次	ページ
1 ロープウェイ延伸可能性調査について	1～5
2 くんち資料館の設置検討に係る調査について	6～7

文化観光部

令和2年9月



1 ロープウェイ延伸可能性調査について

(1) 調査の概要及び内容

ア 概要

長崎ロープウェイは、昭和34年の開業から61年が経過しており、鉄塔などの設備も老朽化しているほか、現在の淵神社駅舎は本通りから奥まった立地にあり、場所が分かりにくいなど、利用者からの意見があることを踏まえ、延伸・整備を検討する際に必要な調査を行ったもの。

イ 内容

(ア) 長崎ロープウェイ移転可能性調査業務委託(2,178千円)

a 調査場所 三菱球場・幸町工場跡地他

※各調査場所における延伸及び移転設置の4パターンについて調査(後述4)

b 調査内容

(a) 山頂・山麓駅舎の配置を比較検討

(b) 整備費、整備期間、制約要件等の整理

c 委託期間 令和元年9月11日から令和2年3月19日まで(191日間)

(2) 現在の設備が抱える課題

ア 輸送力

現在のロープウェイは31人乗りで、1時間当たりの輸送能力は310人/毎時/片道程度となっており、ピーク時には1~2時間待ちが発生している。定員の少なさと運行速度が遅いことが要因となっている。

イ 客車(搬器)の規模

客車(搬器)が小さいことから、混雑時には一部の乗客しか景色を楽しむことができない。

ウ 施設の老朽化

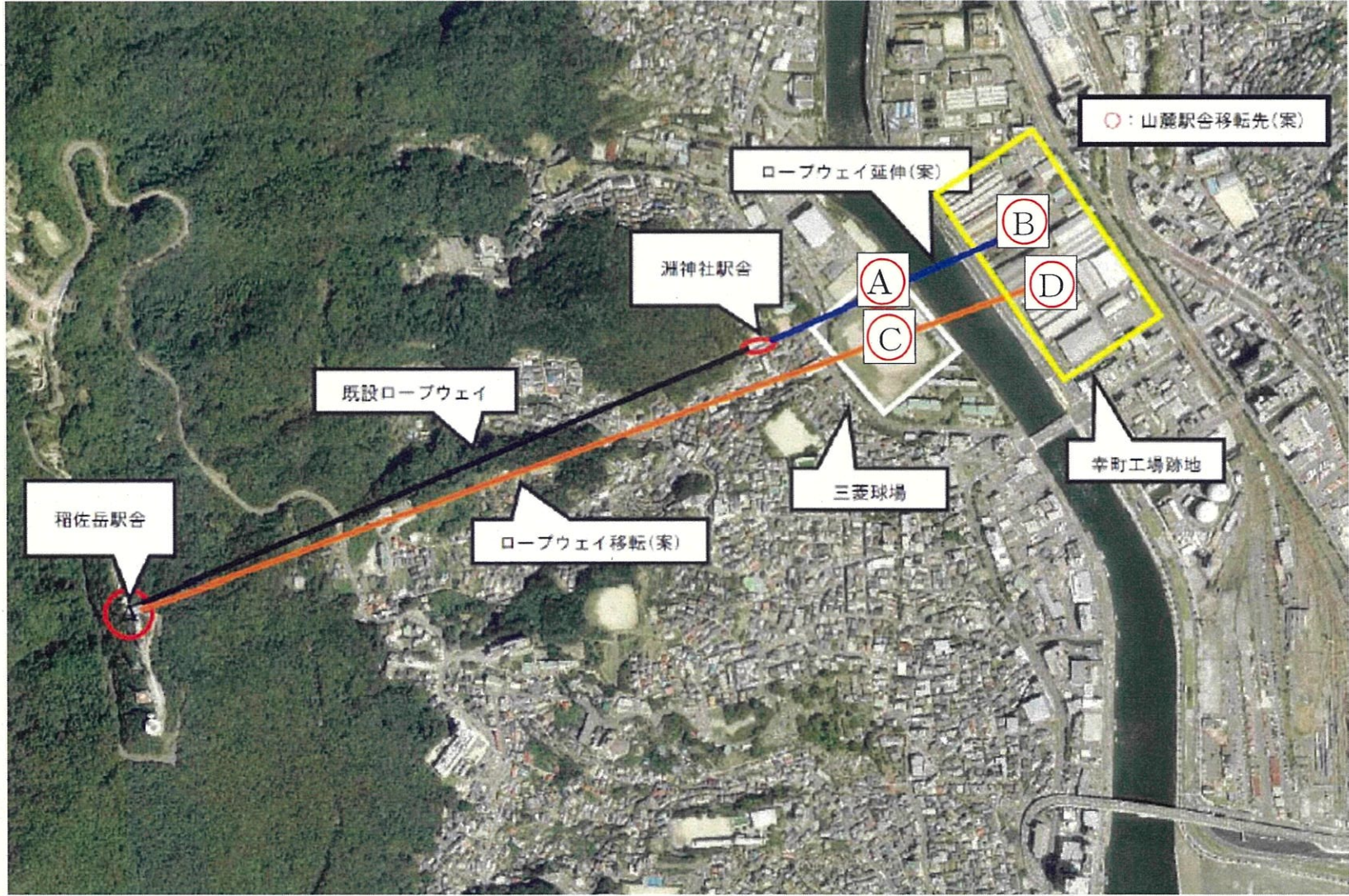
現在のロープウェイは昭和34年に運行を開始しており、令和2年現在、62年目を迎えている。主要機械装置や制御機器は更新されており、駅舎の耐震化も実施されているが、駅舎や支柱(鉄塔)等は建設以来、更新がなされていない。

(3) 解決策〔本調査における設計の基本条件〕

	既設仕様	更新後仕様
方 式	複線交走式	複線交走式
索 条	1支索2えい索	2支索1えい索
客車(搬器)定員	31人乗り	101人乗り
速 度	5.0m/S	7.0m/S
輸送能力(片道)	310人/毎時	1,168人~1,284人/毎時

なお、既設のロープウェイは駅舎や支柱、構造物が全て現状の『31人乗り』に合わせて造られていることから、既存設備の改修による客車の大型化や速度アップを図ることは困難である。

設備の更新〔スペックアップ〕と併せ、利便性の向上〔好地への延伸・移転〕可能性を検討する



(4) 延伸・移転候補地

候補地 A	三菱球場内 [延伸]
候補地 B	三菱幸町工場跡地 [延伸]
候補地 C	三菱球場内 [移転]
候補地 D	三菱幸町工場跡地 [移転]

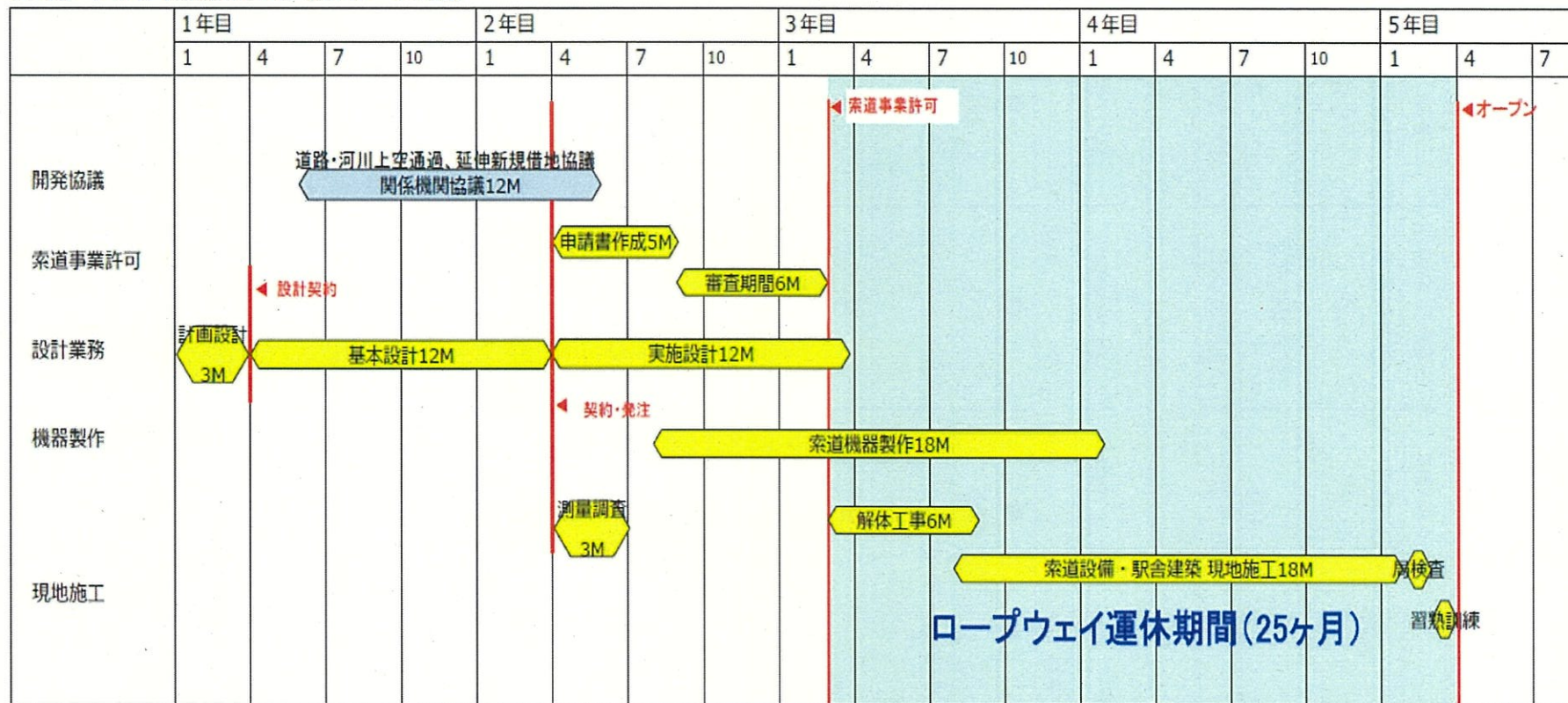
(5) 調査結果

	候補地A	候補地B	候補地C	候補地D	
延伸・移転	延伸	延伸	移転	移転	
搬器人数	101人乗り				
移転先	三菱球場内	三菱幸工場跡地	三菱球場内	三菱幸工場跡地	
アクセス (路面電車)	宝町電停 11分	銭座町電停 5分	宝町電停 10分	銭座町電停 6分	
アクセス (路線バス)	ロープウェイ前 2分	線路現状未定	ロープウェイ前 2分	線路現状未定	
駐車場	300台以上	800台以上	300台以上	800台以上	
工期 (運休期間)	25ヶ月				
概算費用	約32億円	約35億円	約32億円	約35億円	
メンテナンス費用(年間)	3000万円				
施工上の課題	杭打ち工事 〔埋立地のため〕	● 駅舎	● 支柱	● 駅舎	● 支柱
	線下が住宅密集のため、 延線等施工が困難			●	●
	低地のため冠水対策	● 駅舎	● 支柱	● 駅舎	● 支柱
	重機・資材運搬ルート の確保	●	●		
	支柱の設置	●	●	●	●
総合評価 (索道事業者)	△	◎	△	○	

- ・ 本件調査においては、候補地Bを最適案として提案がなされた。
- ・ なお、表中「概算費用」は、ロープウェイ施設に係る建設費用である。

◇法的手続き期間及び工事工期概要

長崎ロープウェイ建設概略工程（全パターン共通）



※道路及び河川上空通過に伴い行政機関から指導があった場合の対策工事は考慮していない。

(関係機関協議において、当初想定できなかった対策が必要となる場合)

(6) 今後の課題及び検討方針

ア 課題

- (ア) ロープウェイの延伸線下でもあり、場合によってはロープウェイの支柱等の設備の設置用地になる可能性もある三菱重工業長崎造船所と今後も引き続き協議を行う必要がある。
- (イ) 稲佐山山頂展望台の周辺は狭小なため、現状では受け入れ能力が不足する恐れがある。
- (ウ) 巨大な鉄塔を設置する必要がある、景観を損ねるほか、近隣住民の同意も必要となる。
- (エ) 淵神社との土地賃貸借契約期間が令和10年度までである。
- (オ) 道路や河川上空を通過することに対する対応を、国、県とより詳細に協議していく必要がある。
- (カ) ロープウェイ延伸先の候補地である三菱重工幸町工場跡地では民間による開発事業（長崎スタジアムシティプロジェクト）が進行中であるため、当該事業者とも協議・調整を行いながら検討を進める必要がある。

イ 長崎ロープウェイ延伸に係る経済効果の測定

上記課題の検討に併せ、仮に延伸した場合の事業収支や経済効果についても今後調査し、多額の工事費に対する運営の持続性も考慮、検討することとしている。

ウ 判断など

上記課題について検討しつつ、延伸後の運営が成り立つか等、総合的に延伸の是非を判断していきたい。

2 くんち資料館の設置検討に係る調査について

(1) 調査の概要及び内容

ア 概要

長崎くんちの山車や傘鉾等演し物の一部は、グラバー園内長崎伝統芸能館に保管・展示されているが、保管・展示スペースとしては狭小であるほか、くんちの関係者から、本来展示については、くんちと関係のないグラバー園ではなく、「まちなか」にあるべきとの意見も一部いただいていることから、今後の方針を検討していくため、演し物の保管の状況などについて、必要な調査を行ったもの。

イ 内容

(ア) くんち演し物等現況調査業務委託 (1,430 千円)

a 調査内容

各踊町が保有している山車等の保管状況の把握及び整理を行うことで、今後のくんち関係資料の展示や保管の見直しを行う際に必要な基礎データのとりまとめを行うもの。

b 委託期間 令和2年1月28日から3月19日 (51日間)

ウ 調査結果

(ア) 演し物の保管について

回答町数		総数	面積 (㎡)
		43町※	
演し物	伝統芸能館	23個 (52%)	563.95
	町内	20個 (46%)	
傘鉾・備品	伝統芸能館	34個 (77%)	208.72
	町内	9個 (21%)	

※年番町参加町数 (48町) のうち、1か町については回答にご協力を得られなかった。
また、4か町については、奉納踊を辞退しているため回答はない。

(2) 主な意見・課題等

<p>(1) 伝統芸能館における保管について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保管スペースが限られており狭い。出し入れも不便である。 ・展示物の埃等が多いため、整理整頓及び定期的な清掃をしてほしい。 ・温度・湿度・照明管理を徹底してほしい。 ・防虫対策を行ってほしい。 ・伝統芸能館の管理体制が不明瞭、踊町担当者が整備のために出入りするのに煩雑。
--

<p>(2) 展示に関する条件等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温度・湿度・照明については、適当な管理を行い、特に傘鉾の垂れについては、専門家の指導の下に展示してほしい。 ・当番町直後に展示し、色褪せや生地痛み等がない期間において、ローテーション展示をすることが好ましい。(長期間展示は不可) ・各踊町のコーナーを設けるなど、町の特徴を出したディスプレイをしてほしい。
--

(3) 新展示場に関する要望について

- ・新展示場もしくは、市所有の遊休地に会議室など協議・打合せができるスペースがほしい。
- ・場所は旧踊町内もしくは市中心部が良い。
- ・各踊町の管理者の立ち入りが簡素化された管理体制の整備（点検の出入りや演し物の出し入れ）。また、搬入や組み立てに係る費用を市に負担してほしい。

(3) 今後の方針等

今回、各踊町の演し物の保管状況や展示・保管に必要な面積を把握できたので、今後、他都市の類似施設等に照会を行い、仮に施設を設置する場合、見学スペースやバックヤード、駐車場など、施設全体で必要な機能や面積を調査しておくとともに、設置の必要性を検討していくこととしている。